

ふくしま 市議会 だより

ふくしま市景観100選より
～李平宿場の歴史と周辺の自然～



議員が、市民の皆さんの生活にかかわる身近な市政の課題に対して質問を行います。その中から質問および答弁の要旨を1件、その他の主な質問項目を3件掲載しています。

市政を問う！

一般質問Q&A

行財政



新型コロナウイルス
5類移行後の施策
白川 敏明
しらかわ としあき



Q 今後も様々な対策を講じるべきでは。

A 観光入込客数は、過去最高となり、こども関連施策も、東北初の日本子育て支援大賞として評価されるように充実を進め、移住者数は子育て世代を中心に過去最多となった。

また、7万人以上が、市の公式LINEを登録し、高齢者が高齢者のデジタル活用をサポートするなどデジタル化も着実に浸透してきている。

総合計画でポストコロナ時代を見据えた社会づくりをまちづくり全体を網羅する重要な視点として各種施策に盛り込み、市民生活や地域経済の上向きの流れの定着・強化を図っていく。

今後コロナ禍で積み上げてきた知見を継承し、市の進めるあらゆる施策で先を見据え、格段の前進に繋がるよう取り組む。

その他の主な質問

- 独居高齢者への支援
- ドステイネーションキャンペーン開催での取り組み
- ももりんシルバースポーツの見直し

環境・ごみ



メガソーラーの
規制・制限
石原 洋三郎
いしはら ようさぶろう



Q 条例などで規制したり、届出制を設けたり、環境基本計画などで開発の制限を明記するべきでは。

A 設置にあたっては、市太陽光ガイドラインによる届出制としており、発電事業者が提出する事業計画書により、設置予定場所や発電規模などの概要を把握している。

山地で計画される景観の悪化や災害発生のおそれのあるメガソーラーに対しては、適法に事業が進む前段階で事業者に中止を求めていく。

電力のエネルギー自給率の向上には、省エネ・省資源化と併せて再生可能エネルギーの導入が必要であるため、令和7年度中に改定予定の次期環境基本計画で、ノーモアメガソーラー宣言の趣旨を踏まえ、本市の特性に応じてゼロカーボンに資する取り組みの検討を進める。

その他の主な質問

- 荒川の水質日本一を守り抜く覚悟
- 市内の空き家件数
- 管理不全空き家への市民の対応



松川町水原笹平に建設
計画のある産業廃棄物
最終処分場
村山 国子
むらやま くにこ



Q 地域住民の建設を望まない声に寄り添うべきでは。

A 地域住民の安全安心や豊かな自然や景観を守り、次の世代につないでいくことに重点を置いて環境行政に取り組んでいる。産業廃棄物処理施設の設置計画にあたっては、市独自に産業廃棄物処理指導要綱を設け、各種同意書などにより地域住民の意向などの確認を行い、住民との調整が整っていない部分は引き続き、十分な説明と信頼関係の構築を指導するなど、地域住民の声に寄り添った対応に努めている。

なお、虚偽の記載などがあれば、事業計画書の返戻を含め、厳正に対処する。

その他の主な質問

- 地域交通くるくるバスへの支援
- 生活保護の一時扶助での相見積を求める根拠
- 市営住宅の廃止による移転の広報



先達山
太陽光発電事業者の
市民への説明会
佐原 真紀
さばら まき



Q 多数の市民が事業者からの説明を求めているが、改めて説明会の開催が必要では。

A 事業者からの定期報告などの機会に説明会の開催についても働きかけていく。市ホームページに先達山太陽光発電施設に関する特設ページを開設、事業の概要を掲載し、広く市民などへの情報提供を開始したほか、工事の進捗状況を知らせるよう事業者との調整を進めている。

加えて、6月2日の泥水が流出した件について、事業者に対して厳重注意を行い、台風19号のような雨にも問題が生じないよう対策の強化を求めた。今後、市ホームページで逐次新しい情報を提供していく。

その他の主な質問

- 偕楽亭の歴史と文化の継承
- スペシャルサポーターチームの取り組み
- と不登校生徒軽減への見解
- キエーロ※の推進とPR

※「キエーロ」はキエーロ葉山の登録商品です。



福祉・健康



病院都合による
個室への入院
佐々木 優
ささき ゆう



Q 大部屋への入院を希望しても空きがなく個室となるなどの場合、同意しなければ差額ベッド代を支払わなくてはよいとの通知がでているが、市民の認識についての見解は。

A 厚生労働省発出の通知によると同意書による同意の確認を行っていない場合や治療上必要な場合、特別療養環境室以外が満床である場合には、特別な料金を求めているとされている。いずれの場合も、医療機関から患者側に丁寧な説明が行われているものと認識している。

その他の主な質問

- 資格確認書の送付とその周知
- 駅前再開発計画への見解
- 街なかでの座る場所、憩いの場所の必要性

介護職員



必要数の確保
三浦 由美子



Q 市内全ての事業所への実態調査を行い、市の責務と課題を明らかにすべきでは。

A 昨年度、市内全事業所に対してアンケート調査を実施し、欠員補充ができない、休暇・休憩が取れないといった人材不足の状況や人材を募集しても応募者がいない、職員の高齢化といった運営上の課題や市への要望などを回答いただき、人材不足が深刻な課題であると認識したところである。

アンケート結果を今後の介護人材確保対策推進パッケージなどに生かし、持続可能な介護保険制度の維持に役立ていく。

その他の主な質問

- 障がい者のふくしまシティーハーフマラソン参加状況と対処
- ももりんシルバースポーツ見直し
- 市全体のまちづくり

まちづくり



福島駅前再開発における
大屋根広場の工事費
斎藤 正臣



Q 民間エリアとフレキシブルホールの入り口にあたる大屋根広場の工事費が、公共床取得額に算入された経緯は。

A 従来の計画においても、以前より市民の要望の強い全天候型のイベント広場整備を検討したが、施設計画上の制約などで断念した経緯があった。

今回の見直し検討の過程では、タウンミーティングなどで、改めて広場整備の要望が非常に強いことを考慮し、ホールなどのバランスの中で大屋根広場整備を方針として示した。

この広場は、日常の憩いの空間というだけでなく、ホールや駅前通りと一体でイベント利用される空間にもなるものであり、まちなか広場と同様、市施設として運営管理することが適切と考えている。

その他の主な質問

- 再開発事業の今後の進め方
- 再開発事業の財政への影響
- フレキシブルホールに誘致する想定
- の会議



全国規模の会議開催
菅原 美智子



Q 開催希望があつたが開催に至らなかった事例は。

A 参加予定定人数6,000名規模の医療系の学術大会があり、当初、主催者は、複数の施設を活用し開催することを想定していたが、1,000名から1,500名程度が一堂に会するメイン会場を確保できず開催を断念され、最終的に郡山市で開催することが決定された。他にも、

3,000名程度の医療系の研修会、放射線関連の国際会議、中核市市長会の中核市サミットは、本市での開催を見送っている。

こうした機会の逸失は、利益を逸失していることと同様であり、再開発事業の早期の完了が求められる状況にあると考えている。

その他の主な質問

- フレキシブルホールでの全国規模の会議開催
- 介護認定調査期間の短縮のための対策
- ごみ減量化のためのシンポジウムやイベントの開催による意識向上



福島駅前交流集客施設の
中期財政収支への影響
尾形 武



Q 今後中期財政収支にどのような影響が考えられるか。

A 今回の見直し案では、事業年度を2年後ろ倒しして、令和8年度から10年度の3カ年になり、施設取得費は最大で80億円増額の270億円と試算している。

この見直しの影響に限定すれば、令和8年度以降の財源不足額が大きくなることとが想定されるが、健全な財政運営に配慮し、人や投資を呼び込むまちづくりに資する攻めの施策を展開することが、税金を増やし、持続可能な財政運営につながると考える。

本事業は、街なか再生の起爆剤として、都市力強化の中核をなすものであり、実質負担をできる限り抑えるよう財源確保の工夫に努め、事業を推進していく。

その他の主な質問

- 農林業振興基金の拠出金の利活用
- 田んぼダムの取り組み計画
- デジタルクーポン発行、今後の高齢者へのデジタル化推進対策

福島駅前再開発への市民の期待



市民の期待
石山 波恵



Q 今回一定の方向が示されたが市民の期待をどのように実現していくのか。

A 当初計画以上に市民の意見を聞く機会を設け、公共エリアにはまちなかリビング、大屋根広場、屋上広場、民間エリアに横丁型フードホールなど、市民の憩いと交流の場を大幅に充実させた。今後も、説明と対話の機会を設けて、設計や運営に市民意見を反映していきたい。

一方、アパレルなどの物販商業は規模を縮小、ホテル誘致も見送らざるを得なかった。

これらの投資を促進するには、再開発事業を核として、多くの人を呼び込み人流を回復して、商業やホテルなどの立地意欲を高めていく。

街なか再生の4つの要素である、人が住む、人が働き学ぶ、人が集まる、人が流れる環境づくりを進め、都市力を強化し、市民の期待に応えることができる街なかをつくっていく。

その他の主な質問

- イベント時の地元商店街との連携
- 福島駅東西周辺の賑わいを生かす取り組み
- ふくしまシティーハーフマラソンでの交通規制等の周知方法



医療関係団体の コンベンション誘致



Q 福島医大保健科学部や周辺施設をサテライトで結ぶことができれば2,000人〜3,000人規模のコンベンション誘致が可能では。

A 新たなコンベンションホールが開業した場合、公共棟全体で2,000人規模の会議開催が可能となり、当該施設をメイン会場として県立医大の駅前キャンパスやコラッセふくしまなどをサテライト会場とすることで、福島駅から徒歩圏内で3,000人規模の開催も十分可能である。

施設完成後は、コンベンションの内容に応じてその都度、施設管理者と調整を行い誘致につなげていきたい。

その他の主な質問

- 介護職員不足への定員増に向けた課題と対策
- マイナ保険証利用促進の課題と対策
- 中心市街地小学校再編のプロセス



再開発事業における 子どもたちのための 施設整備



Q 再開発事業について、子どもたちが集い安全に過ごせる場所、子どもたちが表現できる場所を求める意見が出されているが見解は。

A フレキシブルホールでは、子どもたちが主体となる学習成果の発表会や作品展示会、屋内スポーツのほか、子どもたち向けの各種興行イベントが可能となるほか、屋上広場やまちなかりビングは、家族や友人との団らん、イベント利用、学生の学習場所など、日常利用が可能となり、多様なつながりを生み出す場となることを想定している。

なお、大型の遊具などは、スペース的にも難しく、駅周辺施設のこむこむ館との二重投資になると思われる。

現在、こむこむ館では、デジタルコンテンツ導入による空間演出など機能強化を図っており、今後、遊び場機能のリニューアル、子どもライブラリーと喫茶の融合など、より子どもたちと子育て世代に魅力ある施設にし、フレキシブルホールと連携させ魅力ある駅前をつくっていく。

その他の主な質問

- 高齢者の孤独死防止の取り組み
- インクルーシブ遊具の設置
- イトーヨーカドー福島店跡地利用の動向



ももりん シルバースポーツ 事業の継続と拡充



Q 現行の事業の継続とタクシー利用補助の創設の両方を実施、拡充すべきでは。

A 今回の見直しは、市内全域の高齢者が公共交通などによって足の確保ができる利用しやすいものにするともに、持続可能で、公平・公正な制度にするため、タクシーを追加し、持続可能性と公平性

の観点から、どの利用方法にも等しく上限額を設定するのが妥当と考え、たたき台として2万円の上限額を示した。

タクシー利用を新たに加えるにあたっては、公共交通の経営自体が厳しい状況から、バス・鉄道の利用促進も図りながらタクシーも活用していく仕組みとするため、これまで通りバス・飯坂線を利用する方は、上限2万円まで、タクシーを利用する方は、バス・飯坂線と併用で1万円ずつとし、公共交通全体の持続性にも配慮し、タクシー利用にはマイナnpカードを活用し不正利用にも一定の歯止めをかけていく。

こうした考えを軸に、市内全域の高齢者に利用しやすく、持続可能で、公平・公正な制度を構築する考えであり、現行制度を維持したままタクシー利用を追加することは考えていない。

その他の主な質問

- 飯坂温泉公衆浴場の利用料金改定
- 栗本堰水系の水害防止施策
- 鳥谷野堰橋の拡幅の着手予定

各議員の氏名の下にある二次元バーコードから市議会 HP の録画映像をご覧ください。(公開期間は8月末日まで) 9月以降は会議録をご覧ください。

会議録はこちらから→



意見交換会を実施

(文教福祉常任委員会)

4月19日、「認知症があっても住みやすいまちづくりについて」をテーマとして、公益社団法人認知症の人と家族の会の皆さんと意見交換会を行いました。2部制で早期発見の取り組みと家族に必要な支援のテーマにより、意見交換を実施しました。



現地調査を実施

(経済民生常任委員会)

4月18日、所管事務調査の一環として現地調査を行いました。市内3箇所の農園等を訪れ、キュウリやトマトなどの野菜、いちごやもも、梨、ぶどうなどの果樹の生産状況を確認しました。



複合市民施設に関する 調査特別委員会

6月14日の複合市民施設に関する調査特別委員会において、本会議にて付託された「福島市市民センター条例制定の件」「福島市役所本庁舎駐車場条例制定の件」の2件を審査し、最終日の本会議で可決しました。



常任委員会

各常任委員会に付託された議案審査の主な内容を紹介します。

総務

◆福島市男女共同参画推進条例の一部を改正する条例制定の件

(条例改正の趣旨)

男女共同参画社会の実現に向けて、人権尊重の視点に立った多様性の理解をさらに推進するための改正を行う。

(条例改正の概要)

条例の基本理念に性の多様性(※)の尊重を規定することにより、多様性を認め合い、人権が尊重され、誰もが安心して暮らせる社会の実現を目指す。

※性の多様性：性的指向(いずれの性別を恋愛感情又は性的な関心もしくは興味の主な対象とするかしないかを表わすこと)及び性自認(自己の性別についての認識)が多様であること

(条例の施行日)

令和6年7月1日から施行



文教福祉

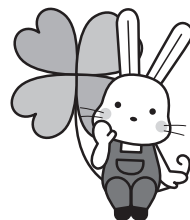
◆福島市学習センター条例の一部を改正する条例制定の件(学習センターの使用料の見直し)

中央学習センターの移転に併せ、学習センターの使用料の見直しを行うもの。使用料は、他の公共施設と比較し、著しい差が生じない額とし、冷暖房費は設定料金に含め別途徴収は行わない。また、地域における子どもの居場所づくりの強化として、新たに高校生以下の個人使用料を免除する。なお、登録団体の利用枠を確保する先行申請とその後に応じ込みを行う一般申請の2段階に申請方法を変更する。

(主な質疑と答弁)

問：多目的ホールの専用使用料が上がることによる影響は。

答：影響を受けるのは有料で借りる団体であり、実績から全体の2.8%と想定。



経済民生

◆福島テルサ改修事業

キョウワグループ・テルサホールの空きテナントとなっている2階及び地下1階について、老朽化した厨房機器等の撤去や経年劣化箇所の改修を行い、民間事業者による新たなバンケットサービスの提供を開始し、中心市街地の賑わいの創出を図る。

(主な改修箇所)

- ・2階部分では、クロスの張り替えやフローリングの改修、照明器具の更新等を行う。
- ・地下1階部分では、床や壁面の破損箇所の改修、調理台や食洗器等の撤去を行う。

(主な質疑と答弁)

問：バンケットサービス利用の需要は。

答：バンケットサービスを有する近隣の施設が閉館したこともあり、一定のニーズがある。地下1階の厨房を改修することにより、2階部分だけではなく、3・4階会議室へのケータリングサービスに発展させたい。

建設水道

◆福島市個人番号カードの利用に関する条例制定の件

シルバーパスポート事業の利用対象にタクシーを追加し、マイナンバーカードを活用するため、条例を制定する。条例では、高齢者の公共交通利用助成に関する事務をマイナンバーカードを利用する事務として定めるほか、サービスを利用される際の申請やサービスの提供にあたって、市がマイナンバーカードに必要な情報を記録することなどを定める。

(主な質疑と答弁)

問：マイナンバーカード利用による個人情報漏洩のリスクやカード紛失への対応について伺う。

答：マイナンバーカードICチップ内の空き領域にデジタルタクシー利用券などの必要な情報を書き込むが、プライバシー性の高い情報は入らないため、安心してお使いいただきたい。高齢者が対象であることを考慮し、紛失への注意喚起に努めるとともに、万が一、紛失した場合でも、カードの一時利用停止を国が24時間体制で受け付けていることを周知していく。

～議案等の審議結果～

6 月定例会議

各議案の概要や資料は
こちらからご覧ください。



〔市長提出議案〕

区分	件 名	結果
6 年度補正予算	一般会計、国民健康保険事業費特別会計、公設地方卸売市場事業費特別会計、後期高齢者医療事業費特別会計	○
条例制定	個人番号カードの利用に関する条例	○
	市民センター条例	
	市役所本庁舎駐車場条例	
条例改正	男女共同参画推進条例	○
	市税条例	
	手数料条例	
	地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例	
	学習センター条例	
	指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例	
	特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例	
	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例	
	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	
	指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例	
	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例	
	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	
	幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例	
	幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件を定める条例	
	国民健康保険税条例	
	東日本大震災による被災者に対する国民健康保険税の減免に関する条例	
	東日本大震災による被災者に対する介護保険料の減免に関する条例	
	水道条例	
	水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例及び福島市専用水道に係る水道技術管理者の資格基準に関する条例	
工事請負契約	重要文化財旧広瀬座再整備工事（電気設備工事） 令和 6 年度市営住宅除却工事（下釜団地）	○
その他	専決処分承認	○

〔委員会、議員提出議案〕

区分	件 名	結果
意見書	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度の創設を求める意見書	○
	地方財政の充実・強化を求める意見書	
	「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書	
	学校給食費の無償化を実施することを求める意見書	
決議	議案第104号令和 6 年度福島市一般会計補正予算に対する附帯決議	○

〔請願・陳情〕

区分	件 名	結果
請願	国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書提出方について	○
陳情	福島市学習センターの会場申込方法等の変更（案）に関することについて	×
	福島駅東口駅前ひろばに関することについて	×
	障がい者福祉タクシー券に関することについて	×
	福島市公共施設駐車場に関することについて	×
	福島駅東口再開発に関することについて	×
	福島市公共施設駐車場利用者負担に関することについて	×
	福島市公共交通機関利用に関することについて	×
	国に対し「学校給食費無償化を実施することを求める意見書」提出方について	○
	県に対し「学校給食費無償化を実施することを求める意見書」提出方について	×

令和5年度政務活動費の収支実績をお知らせします

政務活動費は、福島市から各会派に対して所属議員1名あたり月額10万円が交付され、会派の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として活用し、残金が生じた場合は返還しています。

< 福島市議会 令和5年度（令和5年4月～7月分）政務活動費収支実績 >

単位：円

会派名	真政会	真結の会	ふくしま市民21	公明党福島市議団	日本共産党 福島市議会議員団	耀ふくしま市議団	真の会	全体合計
議員数	9人	8人	6人	4人	4人	3人	1人	35人
交付額(利子含む)	3,600,006	3,200,010	2,400,004	1,600,004	1,600,005	1,200,002	400,003	14,000,034
広報費	1,749,440	1,461,827	1,781,147	642,086	631,983	827,294	0	7,093,777
資料購入費	0	0	41,250	20,900	71,028	0	0	133,178
事務費	621,814	574,241	281,840	126,435	286,471	155,576	36,238	2,082,615
支出合計	2,371,254	2,036,068	2,104,237	789,421	989,482	982,870	36,238	9,309,570
収支差引額 (市への返還金)	1,228,752	1,163,942	295,767	810,583	610,523	217,132	363,765	4,690,464

※調査研究費、研修費、活動旅費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費、資料作成費については、各会派とも支出がありませんでした。

< 福島市議会 令和5年度（令和5年8月～令和6年3月分）政務活動費収支実績 >

単位：円

会派名	真政会	真結の会	ふくしま市民21	公明党福島市議団	日本共産党 福島市議会議員団	社会民主党・ 市民連合	政新会 ※令和5年9月～	全体合計
議員数	11人	9人	6人	4人	3人	1人	1人	35人
交付額(利子含む)	8,900,017	7,200,017	4,800,009	3,200,007	2,400,006	800,002	700,002	28,000,060
研修費	99,880	72,880	54,880	0	0	0	0	227,640
活動旅費	3,278,300	2,688,770	1,138,850	331,580	0	0	0	7,437,500
広報費	2,012,038	2,372,062	1,693,586	1,938,029	1,249,561	0	0	9,265,276
広聴費	3,200	0	0	0	0	0	0	3,200
資料購入費	44,728	0	91,705	39,270	134,706	0	0	310,409
事務費	1,071,879	525,320	641,280	318,042	538,070	197,628	85,085	3,377,304
支出合計	6,510,025	5,659,032	3,620,301	2,626,921	1,922,337	197,628	85,085	20,621,329
収支差引額 (市への返還金)	2,389,992	1,540,985	1,179,708	573,086	477,669	602,374	614,917	7,378,731

※調査研究費、要請・陳情活動費、会議費、資料作成費については、各会派とも支出がありませんでした。

※真政会…令和5年8月は12人、9月より11人

政務活動費の収支報告書、領収書などは、市役所1階の市民情報室や市議会ホームページでご覧いただけます。詳しい内容はこちらからご覧ください。



福島市議会の個人情報の保護に関する条例の 施行状況について

福島市議会では、議会における個人情報保護制度の適正運用を図るため、「福島市議会の個人情報の保護に関する条例」（令和5年4月1日施行）を制定しております。

条例の規定に基づき、令和5年度の福島市議会の個人情報の保護に関する条例の施行状況について下記のとおり公表いたします。

（令和5年度実績）

- ・個人情報ファイル簿掲載の「個人情報ファイル」：保有実績なし
 - ・「開示請求」「訂正請求」「利用停止請求」「審査請求」：実績なし
- ※福島市議会の個人情報の保護については、市議会ホームページでご覧いただけます。



全国市議会議長会

市議会議員表彰

全国市議会議長会総会において、次の議員が表彰され、6月3日の本会議開会前に表彰状が伝達されました。

25年以上表彰

渡辺 敏彦 議員

令和6年春季議会報告会・意見交換会を開催しました

議会基本条例に基づき、議会活動や市政に関する情報を市民の皆さまと共有し、市政全般について意見を交換するため、毎年春と秋に議会報告会と意見交換会を開催しています。

令和6年春季は、5月8日から14日にかけて、信陵支所・西支所・清水支所・杉妻支所で開催しました。

いただいたご意見は、議員全員で共有し、今後の議会活動にいかしてまいります。

参加いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

意見交換会でのご意見の一部

- 四季の里について、近年は果樹農家との連携や集客も減少しているため、活性化に向けて取り組んでほしい。
- 公会堂が閉鎖され、文化環境が不足している。
- 飯坂電車の泉駅や桜水駅の階段は、昇り降りできない人がいるため、バリアフリーに改良して欲しい。
- 進学しやすい学校や若者が働きやすい環境を作ってほしい。20代の若者が未来を想像できるような支援をしてほしい。

詳しい内容はこちらからご覧ください



福島駅東口の再開発について

全員協議会

5月1日、5月29日に市議会全員協議会を開催し、福島駅周辺まちづくり検討会での検討の経過や再開発事業等の今後の方針などの説明を受け、その後、質疑を行いました。

6月定例会議

6月定例会議では、6月14日に東口再開発事業のうち、公共部分について再開発組合が行う設計に対してのアドバイザー業務等に関する一般会計補正予算の追加議案が提出され、追加議案に対する質疑を行いました。

定例会議の最終日には、上記の追加議案に対する討論・採決を行うとともに、議員提出議案として、アドバイザーの選定過程や助言内容を広く市民へ周知し、十分な理解を得るよう努めることなどを求める附帯決議が提出され、賛成多数により、それぞれ可決されました。



9月定例会議開催予定(9月2日～24日)

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	本会議 (定例日)				本会議 (一般質問)	
8	9	10	11	12	13	14
	本会議(一般質問)	決算特別委員会 (全体会)	常任委員会			
15	16	17	18	19	20	21
	(敬老の日)	決算特別委員会 (分科会)	決算特別委員会 (全体会・分科会)			
22	23	24	25	26	27	28
	(振替休日)	本会議 (採決等)				

◆本会議、委員会ともどなたでも傍聴いただけます。委員会の傍聴など詳しくはホームページをご覧ください。

◆9月定例会議で審議する請願・陳情の締め切りは、9月3日(火)午前11時です。

◆市議会広報に関するご意見をお寄せください。

〒960-8601 福島市五老内町3番1号
電話 024-525-3776 FAX 024-534-2520
福島市議会 広報委員会あて

◆市議会ホームページをご覧ください。

<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/gi-soumu/shise/shigikai/>

発行：福島市議会

編集：広報委員会

